

2024 年 鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理相談センター活動報告

竹田 伸也・福岡 俊貴・井上 雅彦・細田（アーバン）珠希・太田真貴
鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理学専攻

I 臨床心理相談センターについて

1. はじめに

2024 年は臨床心理相談センターの開設 17 年目である。本年は 4 月に太田真貴講師が着任し、5 名の臨床指導相談員（教員）にて活動を行った。表 1 のように、新規来談件数が 32 件、のべ相談件数が 637 件であった。以下に、臨床心理相談センターにおける相談活動や大学院生の研修に関する報告を行う。

2. スタッフ

臨床指導相談員は、大学院医学系研究科臨床心理学専攻の臨床心理士である 5 名の教員により構成されている。竹田伸也教授が臨床心理相談センター長、福岡俊貴准教授がセンター主任の任にあたった。相談員は主に臨床心理学専攻の大学院生で構成されている。

3. 相談員登録

2024 年 3 月までは 4 名で、4 月以降は太田講師を含む 5 名の臨床指導相談員（教員）と大学院生が面接を担当した。

II 相談活動

1. 相談活動の状況と統計資料

1) 月別電話受付・新規来談・面接件数

2024 年 1 月から 12 月までの月別の電話受付件数、電話対応（主に継続ケースの電話による対応）、初回面接、臨床心理面接（クライアント本人の面接）、並行面接（保護者や同伴者などの面接）、家族面接、グループ面接（3 名以上の面接）、心理アセスメント、コンサルテーション、心理テスト実施件数、新規件数、のべ相談件数を記す（表 1 参照）。

2) 相談内容別の件数

2024 年 1 月から 12 月までの相談内容別の件数を記す。相談内容別の件数はインテーク終了時などに担当の相談員が分類するものである。相談種別が重複する場合は主なものを実数で表している。また、特定の疾病名や障害名を主訴とする場合も、いずれかの分類に含まれている（表 2 参照）。

表 1 月別電話受付・新規来談・面接件数 (2024 年 12 月 31 日現在)

	電話受付 件数		電話対応	初回面接	臨床心理 面接			並行面接	家族面接	グループ 面接	心理アセ ・スメント	コンサル テーション	心理テスト 実施件数	新規件 数	のべ相談 件数
1月	6	0	2	59	0	0	0	0	0	0	0	0	18	2	61
2月	5	0	1	46	0	0	0	0	0	0	2	2	13	1	49
3月	4	0	5	45	0	0	0	0	0	0	0	0	16	5	50
4月	6	0	2	53	0	0	0	0	0	0	1	1	8	2	56
5月	5	0	4	56	0	0	0	0	0	0	0	0	9	4	60
6月	4	0	4	45	0	0	0	0	0	0	1	1	6	4	50
7月	3	0	1	58	0	0	0	0	0	0	1	1	4	1	60
8月	3	0	3	48	0	0	0	0	0	1	0	0	7	3	52
9月	2	0	1	36	0	0	0	0	0	0	1	1	3	1	38
10月	4	0	4	59	0	0	0	0	0	0	2	2	2	4	65
11月	8	0	2	45	0	0	0	0	0	0	1	1	3	2	48
12月	4	0	3	43	0	0	0	0	0	2	0	0	4	3	48
計	54	0	32	593	0	0	0	0	0	3	9	9	93	32	637

※のべ相談件数は初回・臨床心理・並行・家族・アセスメント・コンサルテーションとグループ面接参加人数の合計を示す

表2 相談内容別の件数

(2024年 12月 31日現在)

1	不登校・不登校傾向	2 (4)
2	いじめ	0 (1)
3	学校不適応	0 (0)
4	進路	1 (0)
5	非行・怠学	0 (0)
6	職業適性や自立	0 (2)
7	職場不適応	1 (0)
8	ひきこもり	0 (0)
9	対人関係の問題	4 (9)
10	家族関係の問題(夫婦間・親子間)	7 (8)
11	ライフサイクル上の問題	0 (3)
12	健康・症状についての問題	7 (9)
13	性格の問題	2 (5)
14	発達障害・アセスメント	6 (4)
15	コンサルテーション・その他	2 (0)

※実数は主たる相談内容 32 (45)

※()内の数字は複数選択された相談内容

※障害・疾病などはそれぞれの相談内容に含まれる

3) 来談経路別の件数

2024年1月から12月までの来談経路別の件数を記す(表3参照)。

4) 附属病院診療科との連携・協力

臨床心理相談センターは附属病院の各診療科と連携している。各診療科と連携・協力しながら関わっている事例ののべ件数と、カンファレンスや意見提供などで連携したのべ件数を挙げる(表4参照)。

2. 電話受付と曜日当番について

相談申込の電話受付は月曜日～金曜日の13:00～16:00に行っている。それぞれの曜日に担当の臨床指導相談員(教員)1が配置されており、相談員数名が割り振られている。臨床心理相談センターに待機している相談員もしくは事務員が受け付けた電話を曜日担当の臨床指導相談員が検討し、受付・紹介・電話のみの相談などの処遇を判断する。

表3 来談経路別の件数

(2024年 12月 31日現在)

1	精神科・心療内科病院の医師	0
2	精神科・心療内科クリニックの医師	4
3	鳥取大学附属病院精神科	3
4	鳥取大学附属病院脳神経小児科	1
5	鳥取大学附属病院その他の科	1
6	鳥取大学内の教員・施設等	3
7	精神保健福祉センター・保健所	0
8	医療機関の臨床心理士	0
9	施設所属の臨床心理士	0
10	学校・教育関係機関	1
11	福祉機関・児童相談所	1
12	スクールカウンセラー	1
13	相談員による直接紹介	0
14	新聞・広報誌・電話帳	0
15	テレビ	0
16	ラジオ	0
17	ホームページ・パンフレット	8
18	講演・研修会	1
19	書物	0
20	家族・知人	6
21	司法関係	0
22	公的機関	1
23	不明	0
24	その他の科の病院・クリニックの医師	2

33

表4 附属病院診療科との連携・協力

(2024年 12月 31日現在)

精神科	連携事例	3
	カンファレンス等	0
脳神経小児科	連携事例	1
	カンファレンス等	0

3. インテークシステムについて

インテークは、基本的に曜日担当の臨床指導相談員(教員)が行い、ケース内容によっては他の臨床指

導相談員が実施できる体制を整えている。

III 研修活動

1. 講義・演習

臨床心理相談センターにおける相談活動と関係する講義は多く行われている。井上雅彦教授による発達障害、応用行動分析などに関する講義と演習、竹田伸也教授による認知行動療法、ストレスマネジメントなどに関する講義と演習、細田（アーバン）珠希教授による家族心理学などに関する講義と演習、福岡俊貴准教授による産業心理学、心理統計などに関する講義と演習、太田真貴講師による臨床心理学研究法などに関する講義と演習が行われた。

また金子周平非常勤講師（九州大学准教授）によるグループアプローチに関する集中講義、富樫公一非常勤講師（甲南大学教授）による心理療法に関する集中講義、枝廣和憲非常勤講師（福山大学准教授）による学校臨床に関する集中講義、安西敦非常勤講師（ひだまり法律事務所&カウンセリングオフィス）による司法や犯罪臨床に関する集中講義が行われた。

2. 実習

1) 学内実習

学内実習の中心は、臨床心理相談センターにおける事例の担当、心理検査の担当、陪席、ケースカンファレンス、スーパーヴィジョンなどである。さらに医学部附属病院の精神科と脳神経小児科における学内実習として、病棟回診やカンファレンスへの陪席を行っている。

臨床心理相談センターの相談活動で必要となる基礎的な技能について 5 名の教員がオムニバス方式で指導している（前期）。基礎的な応答訓練、電話受付やインテーク面接における基礎的な実習、個人心理療法、グループ・カウンセリングの基礎技能などを実習から学ぶ。

また臨床心理査定・アセスメントに関する実習は年間を通して行われている。その内容は、各種の知能検査、発達検査、発達障害のスクリーニング、不安・精神健康度・うつなどの検査、思春期の問題行動に関するアセスメント、老年期の神経心理検査、質問紙による人格検査、MMPI、PF スタディ、描画法、ロールシャッハテスト、文章完成法、主題統覚検査、テス

ト・バッテリーなどと多領域にわたる。

2) 学外実習

修士 1 年生は、医療領域として医学部附属病院、福祉領域として児童家庭支援センター、児童相談所、司法領域の少年鑑別所の学外実習を行った。また、修士 2 年生は、医療領域として医学部附属病院、精神科病院での実習を行った。

IV 臨床心理相談センター関係者名簿

以下は臨床心理相談センター関係者名簿である。

1. 臨床指導相談員

竹田 伸也 臨床心理相談センター長
福岡 俊貴 臨床心理相談センター主任
井上 雅彦
細田（アーバン）珠希
太田 真貴

2. 相談員

井田 裕子 岡崎 多夢
北原 真広 西尾友里子
福羅 麗奈 横田 昂紀
大本 智子 河崎 玲
設楽 深鈴 田口 結月
中村 堯駿 西田 誉
長谷川 由賀

3. 事務員

都守 香 （2024 年 1 月～10 月）
小田原 恵子 （2024 年 11 月～現在）